

# 安芸太田町子供の読書活動推進計画

(第二次計画)



平成27年4月1日

(平成28年2月16日一部修正)

安芸太田町教育委員会

# 目 次

はじめに

I. 基本目標	2
1 読書の意義	
2 安芸太田町の現状	
II. 計画の位置づけ・期間・対象	4
1 計画の位置づけ	
2 計画の期間	
3 計画の対象	
III. 計画推進のための基本方針	4
1 家庭・地域・学校における読書活動の推進	
2 読書推進に関わる連携・協力	
3 子供の読書活動に関する理解と関心の普及	
IV. 計画推進のための方策	5
1 家庭における子供の読書活動の推進	
2 本と出会う機会の拡充	
3 図書館環境と移動図書館の充実	
4 図書館の児童向け資料の充実	
5 中高生への図書館サービスの充実	
6 図書館における専門的職員の養成及び職員等の研修参加の促進	
7 読書ボランティアの養成	
8 図書館行事の開催	
9 学校における子供の読書活動の推進	
10 図書館及び学校図書室等との連携・協力・ネットワーク	
11 啓発・広報等の推進	

## はじめに

子供の読書活動は、子供が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことのできないものです。また、社会情勢が急激に変化する社会では、生涯にわたって絶えず自発的に学ぶ習慣が大変重要であり、読書は、子供が自ら考え、自ら行動し、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養を身に付ける重要な契機となることが指摘されています。

子供の読書活動のもつ重要性に鑑み、国においては、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、平成14年8月には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第一次計画)が公表されています。その後、社会情勢や子供の読書活動を取り巻く状況の変化により、第二次計画が定められ、平成25年5月には、第三次計画が定められました。また、広島県においては、平成15年11月に「広島県子どもの読書活動推進計画」(第一次計画)が公表され、平成21年2月には、(第二次計画)が定められました。

これらの動きを踏まえ、安芸太田町においても、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、平成21年2月に「安芸太田町子ども読書推進計画」(第一次計画)を策定し、平成23年2月には一部を修正し、ホームページで公表しています。本計画は今後5年間にわたる具体的な方策を定めるものです。

子供の読書活動を推進するためには、家庭や学校、地域が連携して、読書の魅力を触発する様々な活動を展開し、読書環境を整備していかなければなりません。

今後はこの計画に沿い、読書活動推進団体やボランティアなどの協力を得ながら、町全体として子供の読書活動推進に積極的に取り組んで参ります。



安芸太田町立図書館マスコット  
やまピー

## I・基本目標

### 1 読書の意義

子供は、年齢に応じた本に出会い、保護者などが読み聞かせなどを行うことで、イメージを膨らませ、あるときは主人公や登場人物になりきり、本の世界に入り込みます。この体験によって、視野が広がり、ことばや心理を理解し、子供自身が正しい判断力を持ち、思いやりの心を見出しながら成長していきます。

しかし、テレビ、インターネット、テレビゲームなどのさまざまな情報メディアの発達、普及により、子供たちを取り巻く読書環境は大きく変化し、子供の読書離れや国語力低下が懸念されるようになってきました。また、平成16年には日本小児科学会が乳幼児のテレビ・ビデオの長時間視聴の危険性を指摘しています。

子供が自主的に読書を行うようになるためには、乳幼児期から読書に親しむことができる環境づくりに配慮することが必要です。

### 2 安芸太田町の現状

安芸太田町立図書館の利用者数と貸出冊数は、全体的に増加傾向にあります。また、移動図書館の利用者数は全体の約20%で安定しており、各小学校や図書館の利用が困難な地区に巡回したことの成果であり、継続する必要があると考えられます。

安芸太田町の子供たちの読書の状況については、平成26年度「基礎・基本」定着状況調査によると、土日を含む1週間に家庭で読書をする時間は小・中学校ともに1時間未満が最も多く、小学生では42.2%、中学生で47.7%でした。

しかし、まったく読書をしない子供が小学生で15.6%、中学生で23.1%となっています。

また、1カ月に本を読む冊数は、小学生で11冊以上が33.3%、中学生では3冊未満が52.3%と最も多い結果でした。

しかし、1カ月に0冊と回答した子供は小学生で6.7%、中学生では10.8%でした。

これらの結果から、まったく読書をしない子供が読書の楽しさに触れる取り組みを今後も展開していくことが必要であると考えられます。また、学校段階が進むにつれて読書離れが顕著になる傾向を改善するため、中学生にも読書週間の定着化に向けて、取り組むことが必要であると考えられます。

① 安芸太田町立図書館 利用者数の推移

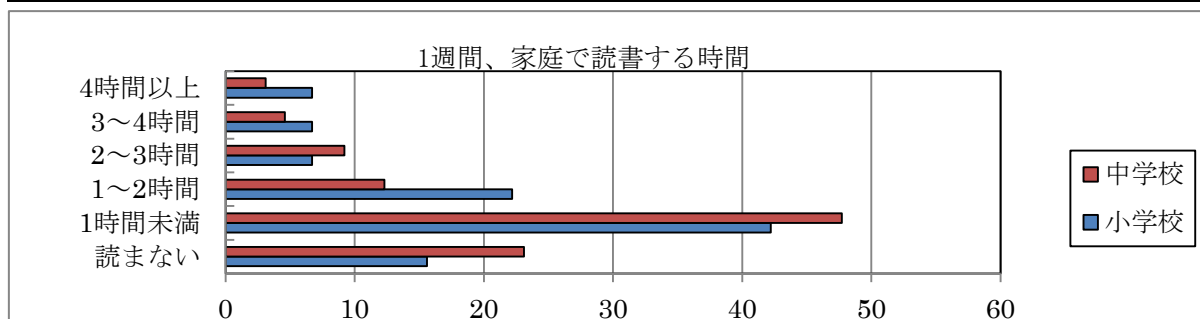
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
本館	3,474	3,950	4,396	4,280	4,223
戸河内分室	1,641	1,712	1,849	2,108	2,172
筒賀分室	858	936	1,001	894	1,005
移動図書館	1,644	1,674	1,980	1,872	2,027
計	7,617	8,272	9,226	9,154	9,427

② 安芸太田町立図書館貸出冊数の推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
本館	20,862	21,662	23,957	23,494	23,526
戸河内分室	5,095	5,479	6,278	7,671	7,813
筒賀分室	2,720	3,088	3,154	3,308	3,431
移動図書館	3,697	4,440	5,278	5,629	6,006
計	32,374	34,669	38,667	40,102	40,776

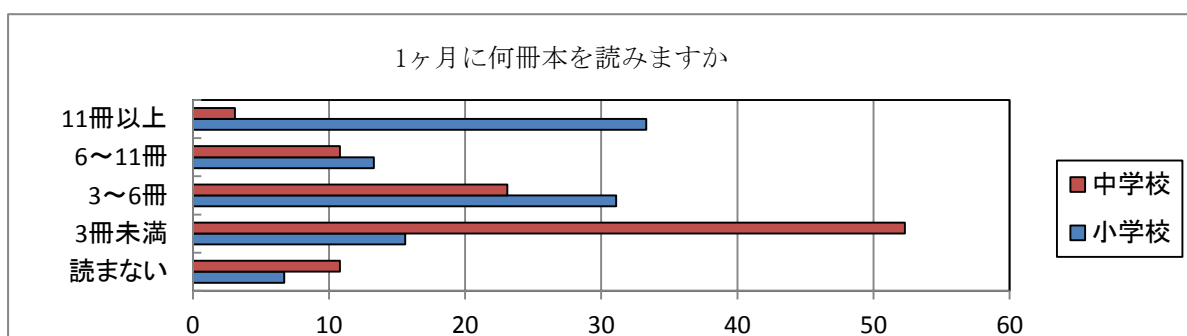
③ 1週間、家庭で読書する時間

	読まない	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
小学校	15.6	42.2	22.2	6.7	6.7	6.7
中学校	23.1	47.7	12.3	9.2	4.6	3.1



④ 1ヶ月に何冊くらい本を読みますか

	読まない	3冊未満	3～6冊	6～11冊	11冊以上
小学校	6.7	15.6	31.1	13.3	33.3
中学校	10.8	52.3	23.1	10.8	3.1



③、④は平成26年度「基礎・基本」定着状況調査結果より

## 1 計画の位置づけ

この計画は、「子どもの読書活動推進に関する法律（平成 13 年法律第 154 号）」第 9 条第 2 項に基づいて策定するもので、安芸太田町における子供の読書を推進していくための総合的な指針として定めるものです。

また、この計画は、国が策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成 25 年 5 月）と広島県が策定した「広島県子どもの読書推進計画」（平成 21 年 2 月）を基本として策定するものです。

## 2 計画の期間

本計画は、平成 27 年度から平成 32 年度までの 5 年間の計画とします。  
なお、本計画は、必要に応じて見直しを行うものとします。

## 3 計画の対象

本計画では、18 歳以下の子供を対象とします。

# Ⅲ. 計画促進のための基本方針

## 1 家庭・地域・学校における読書活動の推進

子供の読書に関する環境として、大別すると、家庭・地域・学校があります。この家庭・地域・学校が子供の読書活動を推進していくために担うべき役割、課題を把握し、今後推進していく方向性を明らかにする必要があります。

## 2 読書活動推進に関わる連携・協力

子供の読書活動の推進には、行政ばかりでなく、家庭・地域・学校・ボランティア団体など全ての人たちが、それぞれの役割を果たし、自らの責務と認識する必要があります。また、それぞれ独自の展開を図っていくことも大切ですが、お互いに連携・協力し取り組むことにより、大きな成果が期待できます。そのため、関係機関・団体が連携・協力できる体制を整えるとともに、より一層の連携強化を図るよう努めます。

## 3 子供の読書活動に関する理解と関心の普及

子供の自主的な読書活動を推進するには、子供の読書の意義や重要性について、町民に理解と関心を深める必要があります。

子供は、読み聞かせによって保護者の愛情とともに読書の楽しみを知り、また、大人の読書に対する認識が、子供の読書意欲を高めます。特に、保護者、教職員、保育士等が子供の読書活動の意義を理解し、積極的に推進、協力することによって、各関係機関、団体等が行なう読書推進の取り組みがスムーズに実施できます。

## IV. 計画推進のための方策

### 1 家庭における子供の読書活動の推進

#### (1) 保護者への啓発の促進

子供が幼いころから、本に親しみ、本の楽しさを知るためには、家庭における読書環境の充実が重要です。子供は、身近なところに本があり、保護者から読み聞かせをしてもらい、一緒に本を楽しむことで、言葉や読解力はもちろんのこと、想像力や自分で考える力、豊かな感性や情操、思いやりの心などを学びながら成長していきます。

特に乳幼児期の親子のふれあいや、言葉かけ、読み聞かせなどは、その後の読書活動に良い影響を与えます。

そこで、読書を楽しむ環境づくりとともに、家庭での読み聞かせの大切さについて啓発していきます。保護者が乳幼児と楽しい時間を過ごすためのコミュニケーションの道具の1つとして、絵本が活用されるように働きかけます。また、いつも身近にいる大人が日ごろから本を読んだり、一緒に図書館などへ出かけたりするなど、子供と共に読書を楽しむことの重要性を啓発していきます。

### 2 本と出会う機会の拡充

#### (1) ブックスタート事業の推進

新生児4ヵ月健診の際に、ブックスタート事業として図書館職員及びボランティアによる読み聞かせや絵本の紹介をしています。この事業は、絵本の楽しさを知ってもらい、子供のこころを豊かに育てるための第1歩として、とても効果的であるため、今後もこの事業を支援していくとともに一層の充実を図っていきます。

#### (2) 幼稚園・保育園・こども園との連携

絵本の読み聞かせや季節にあった絵本の紹介を行います。

#### (3) おすすめブックリストの活用

ブックスタート時に配布している「おすすめ絵本リスト」や小学校、中学校向けに作成し配布している「夏休みおススメブックリスト」の充実を図り、国が推薦している優良図書の紹介、図書情報の提供を行なっていきます。

#### (4) ブックトークでの啓発

毎月のお話し会や学校でのおはなし会にブックトークを行い、次に読む本に出会うきっかけづくりを行っていきます。

#### ブックトークとは

ある一つのテーマに沿ってトークで繋ぎながら何冊かの本を順番に紹介する読書案内の方法のひとつです。子供たちが今まで知らなかった面白い本を、色々な切り口で紹介されることで、新しい本と出会い、興味や可能性を広げるきっかけとなります。

### 3 図書館環境と移動図書館の充実

#### (1) 図書館の環境づくり

子供の発達の段階に応じて、子供自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ、読書体験を深めるように図書館の読書環境づくりに努めます。また、多くの本の中から目的の本を探ることができるように、図書の配置や案内・サイン表示など設備環境の工夫を行います。

#### (2) 移動図書館やまびこ号の充実

図書館では、平成 18 年より毎月 3 回移動図書館を運行しています。子供たちが本を手にする良いきっかけとなる図書館車であり続けるために、積載する本の選択や、オリジナルキャラクター「やまピー」の活用など、さまざまな趣向により子供を飽きさせない工夫を行います。



### 4 図書館の児童向け資料の充実

国が推薦している児童福祉に関する出版物を参考に、毎月の新刊本購入や古本購入などにより図書の充実を図ります。また、学校の統廃合により廃校になった小・中学校の図書は、子供たちへ再び手に取ってもらえるように修理し、点検後に「おひさま文庫」として登録しています。この本を学校への貸出図書としても利用し、読書活動の推進を図ります。



## 5 中高生への図書館サービスの充実

本館で設置しているティーンズコーナーの充実に努め、読書率の低い中高校生のニーズを把握するため情報収集を行い、読書への関心を深めるための機会の提供や情報発信を行います。

## 6 図書館における専門的職員の養成 及び職員等の研修参加の促進

子供たちにとって自分の読みたい本、調べたい本を、豊富に揃えられた本の中から手にするのは難しいものです。そのため、工夫した図書配架や十分な案内をし、より多くのレファレンス事例の把握、研修会への積極的な参加により職員を育成し知識を深め、きめの細かいサービスの充実に努めます。

また、子供の興味に応じた本の選び方などの相談に応じ、子供たちの読書活動を推進していきます。

### レファレンスとは

図書館利用者が学習・研究・調査等のために必要な資料及び情報を求めた場合に、図書館員が図書館の資料と機能を活用して資料の検索を援助し、資料を提供し、あるいは回答を与えるなど、利用者と資料とを結び付ける業務のこと。

## 7 読書ボランティアの養成

本と人を結びつける人材の育成・支援のため、町内の読み聞かせボランティアグループ「野うさぎ文庫」と「ゆりかご文庫」の活動支援や、新たなボランティアグループの育成に努めます。

## 8 図書館行事の開催

図書館の仕事には、図書・資料を収集し、整理・分類して子供たちに提供していく事、また保護者への家庭における読書の意義等を共に考えていく働きかけがあります。

そこで、子供が楽しんで参加できる事業や、子供と本を結びつける様々な事業を開催し、保護者にも広く読書の楽しさや情報を伝えていく機会を提供します。図書館や分室で定期的実施しているおはなし会では、子供たちがより楽しめるように、おはなし会の後に工作の本を使った工作時間を設け、絵本と工作の2本立てで開催し、来場の機会を増やす努力をしています。今後もボランティア団体と協力し、さらなる充実を図ります。



(おはなし会での工作時間の様子)

### 主な図書館行事

- ・本館おはなし会 毎月1回
- ・戸河内分室おはなし会 2ヶ月に1回
- ・筒賀分室おはなし会 2ヶ月に1回
- ・図書館まつり 年1回(上映会・フリーマーケット・お話し会等)
- ・おはなし縁日 年1回3館(お話し会・工作・レクレーションゲーム)
- ・その他(キャラバン隊企画・企業出張講座企画・独自講座の開催など)



(おはなし会の様子)



(図書館まつりの様子)



(おはなし縁日の様子)

## 9 学校における子供の読書活動の推進

- ・ 研修による教職員への啓発と協力体制の確立の促進
- ・ 年間活動計画の作成の促進
- ・ 朝の読書活動の支援
- ・ 読書した内容を表現する機会の提供と推奨  
(ビブリオバトルなどの企画、読書感想文をコンクールへ応募することの推奨)
- ・ 計画的な学校図書館資料等の整備・充実
- ・ 司書教諭免許状の取得推奨
- ・ 司書教諭の配置促進
- ・ 家庭、地域、読書ボランティアとの連携の促進



(学校図書室の展示コーナー)

## 10 図書館及び学校図書室等との 連携・協力・ネットワーク

### (1) 図書館等の連携・協力

図書館は、相互に連携、協力し合うことで、図書資料や情報について相互利用を行うことができます。このことは、利用者からリクエストのあったさまざまな情報の提供を可能とし、子供の読書活動を推進する上で大変重要な取り組みです。本町では、平成22年度より「広島県域図書館情報提供ネットワークシステム」に加入し県立図書館及び他市町の図書館との連携を積極的に図っています。

行政内部においては、図書館を中心に生涯学習課・学校教育課・健康づくり課・児童育成課などの関係部署との協力体制の整備を図っていきます。

### (2) ボランティア団体との連携

現在、安芸太田町で活躍されている主なボランティア団体は「野うさぎ文庫」と「ゆりかご文庫」です。図書館や小学校などで読み聞かせを行って、子供たちに本の楽しさを伝え、読書習慣を身に付けさせる取り組みにおいて大変ご尽力いただいています。

今後ともボランティア団体のさらなる支援を図るとともに、新たな協力者を募り、連携・協力体制を強化していきます。



(学校訪問おはなし会でのブックトークの様子)

### (3) 学校図書室との連携

学校と図書館とが一体となって子供たちの読書活動を進めます。読書習慣を身につけることから始め、子供に本の楽しさを知ってもらい、読書に対する興味・関心を持つよう努めます。

県立図書館との橋渡し事業として、「互助・教弘文庫」の配布や、団体図書の借入などを行い、幼稚園・保育所には絵本の他、大型絵本や紙芝居の貸出をすることで、より読書との関わりをもてるようにします。

## 1 1 啓発・広報等の推進

### (1) 「子ども読書の日」などを中心とした事業の実施

「子ども読書の日（4月23日）」は、広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律」において定められました。

その趣旨に沿った行事などを事業展開するため、読書週間において、子供の頃から読書に親しむことの重要性や読書が子供に与える影響・効果について啓発を行っていきます。

### (2) 町広報や新刊本案内を活用した啓発・広報の推進

現在、町が発行する広報に毎月1回、「図書館だより」を掲載し、図書館のイベントの情報や新刊本を紙面で紹介しています。また、「新刊本案内」を毎月発行し、月ごとの新着ブックリストを作成しています。

この「図書館だより」と「新刊本案内」を有効活用し、子供の読書活動推進に関する理解と啓発を図ります。また、利用者の選択の幅を広げるためにも、より多くの図書を紹介するなど掲載の工夫を図ります。

### (3) ホームページなどを活用した啓発・広報の推進

ホームページを活用して、子供の読書推進に関する様々な情報を提供し、子供の読書活動の大切さについて社会的理解を求めていきます。

また、定期的に人気本の把握を行い、館内にわかりやすく紹介するとともにホームページで人気本を紹介することにより、読書に興味を持ち始め、面白さを感じ始めている子供たちに、広い分野の図書を手に取ってもらえるよう啓発します。

### (4) 図書館展示コーナーの充実

図書館内にある展示コーナーを利用し、企画展示を行っていきます。季節に応じたものや情勢にあわせ、楽しく興味深い展示コーナーになるよう努めていきます。